



# arc\*truth

ガラス、レンズ、フィルム等の検査用光源ユニット

## 取扱説明書



# はじめに

## 検査用光源装置Arctruth説明書

この度は、弊社の製品をご購入いただき誠にありがとうございます。

本装置は産業用精密機器となります。ご使用の際に必ず本書に書かれている使用方法、注意事項をご確認いただき適切な方法でのご使用をお願いいたします。

本装置は紫外線露光、及び理化学実験、各種検査等の光源装置です。

ランプハウスの形状は同じでも、それぞれ超高圧UVランプ用、キセノンランプ用、Deep UV ランプ用に分類されており、各々に対応した電源及び接続コードが必要です。間違った組み合わせで使用すると故障の原因になります。

ご発注時の指定によってランプハウス、電源、接続コード一式を調整して出荷していますので、お間違えないようお願いいたします。

※改良の為予告なく仕様・デザインを変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。



### 注 意

本装置は屋内専用です。又、設置は安定した場所で且つ容易に燃えないものの上に設置してください。地震が起きた場合も落下の恐れのない位置に設置してください。

装置の周辺30cm以内に物を置いたり、狭い場所に装置を置くと空気の流通が妨げられ装置の過熱、故障の原因となりますのでおやめください。



また、装置の下部に布、紙の類を置くと、装置のファンに吸われて冷却の能力を妨げますので決しておかないでください。

点灯中の移動・運搬は危険ですのでおやめ下さい。

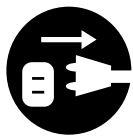
移動の際は必ずランプを本体より外し、専用ケースに入れてください。

# ● 安全上のご注意 ●

お客様の安全の為、必ずお守り頂きたい事項を次のように表示しています。  
本装置をご使用のときは、必ず取扱説明書をお読みの上、正しくお使いください。

 <b>警告</b>	この表示を守らずに、誤った使い方をすると「死亡または重傷などを追う可能性が想定される」内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を守らずに誤った使い方をすると、「傷害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

## ! 警告



設置、ランプ交換、メンテナンスの際は必ず電源を切り、プラグを抜いた状態で行ってください。

● 感電による怪我の原因



絶対に分解・改造をしないでください。

● 感電・火災・発火・故障等の原因



入力電源を切ってもランプ及びランプ電カケーブル、端子、リード線には危険電圧が残っています。電源を切ってから3分は手を触れないでください。

● 感電による怪我の原因



ランプの光は絶対に直接・または間接的に肉眼では見ないでください。また、皮膚にも当てないでください。

● 目の痛みや視力障害・皮膚の炎症の原因



点灯中や消灯直後はランプと周辺の金具が熱くなっています。消灯後30分は手を触れないでください。

● 火傷の原因



可燃性のスプレー缶や薬品を本体近く、および光の直接あたる場所に置かないでください。

● 爆発や火災の原因



カーテンや燃えやすいものの近くや不安定な場所で使用しないでください。

● 火災や事故の原因



濡れた手で電源プラグ、操作部などを絶対に触らないでください。

● 感電やけがの原因

ぬれ手  
操作禁止



コードを傷つけたり無理に曲げたりしないでください。また、コードの上に重いものを載せないでください。

● 破損・感電・火災などの原因





この電源はOptical moduleXの灯具以外にはしようできません。

● 火災・破損・感電の原因

# ● 安全上のご注意 ●

お客様の安全の為、必ずお守り頂きたい事項を次のように表示しています。  
本装置をご使用のときは、必ず取扱説明書をお読みの上、正しくお使いください。

 <b>警告</b>	この表示を守らずに、誤った使い方をすると「死亡または重傷などを追う可能性が想定される」内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を守らずに誤った使い方をすると、「傷害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

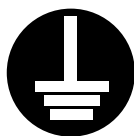
## 注意



本点灯装置には、冷却のための通風口があります。通風口をふさぐと、点灯装置内が過熱し、破損の恐れがあります。通風口付近には物を置かないでください。風通しの良い場所でお使いください。



本装置は必ず銘板シールに記載されている定められた入力電圧でご使用ください。間違った電圧を供給されると装置の破損の原因になります。場所により、電源電圧が大きく変動する場合がありますのでご注意ください。



電源及びランプハウスのアース端子は必ず設地してください。



本装置は安定した場所に水平に設置してください。振動や衝撃が直接加わらない場所でお使いください。

●故障や事故の原因



本装置の周囲温度は0°C~40°Cと定められています。上記温度範囲内でお使いください。

又、粉塵や腐食性ガス、可燃性ガス等がある環境では絶対に使用しないでください。

●故障や事故の原因



電源コードの差し込みプラグを抜くときは必ずプラグ部分を持って抜いてください。

●故障・感電・ショート・発火の原因



装置に水、油、薬品等がかからないようにしてください。

●故障の原因



開口部や隙間に異物をいれしないでください。

●感電や異常動作の原因

# ● 目次

## 1章 はじめに

● 1表紙	1
● はじめに	2
● 安全上のご注意	3-4
● 目次	5
● 同梱品の確認	6

## 2章 準備

2-1 概要表(装置の組み合わせ)	7
2-2 基本性能	8
2-3 各部の名称 ランプハウス	9
2-4 各部の名称 ランプ	10

## 3章 準備

3-1 ランプの取付方法	11-13
3-2 接続	14
3-3 レンズ(コリメータレンズ)の取付	14
3-4 UVカットフィルタの取付	15
3-4 点灯前の確認	16

## 4章 使い方

4-1 点灯	17
4-2 その他諸注意	18-19
4-3 別売オプション	19

## 5章 電源

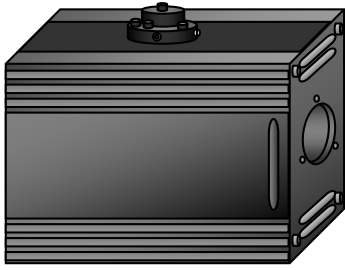
5-1 仕様	20
5-2 各部の名称(電源)	21
5-3 パネル説明	22
5-4 諸注意	23

## 6章 その他

6-1 トラブルシューティング	24-25
6-2 ランプハウス概略図	26
6-3 電源装置概略図	27
6-4 移動・輸送時の注意事項	28
6-5 アフターサービスについて	29

# ● 同梱品の確認

## ● ランプハウス箱内容物

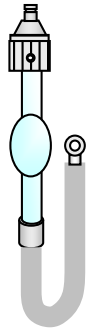


● ランプハウス本体 1台

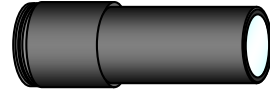


● 取扱説明書 1部

※ご一緒に購入された場合



● ランプ



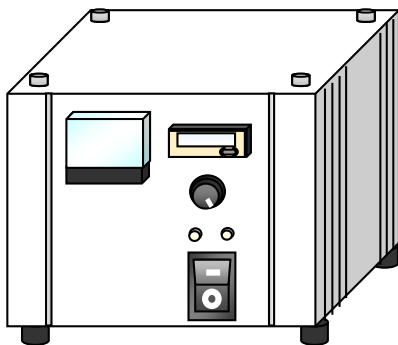
● レンズ

### オプション

- ・ フィルター
- ・ フィルターホルダー
- ・ 下方照射ミラー
- ・ ファイバーマウント
- ・ ファイバー

## ● 電源箱内容物

### 接続コード



● 電源本体 1台

電源接続側

3Pメス

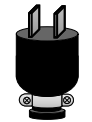


電源コード

1本

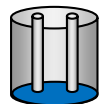


プラグ



AC100V

2Pオス

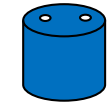


ランプ出力用DCコード

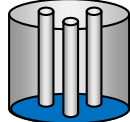
1本

2P:超高压250W,500W, キセノン150W  
3P:キセノン300W, 500W, DeepUV500W

2Pメス



3Pオス

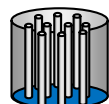


3Pメス



ランプハウス接続

10Pオス

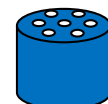


インターロック・ファンコード

1本



7Pメス



アースコード

2本



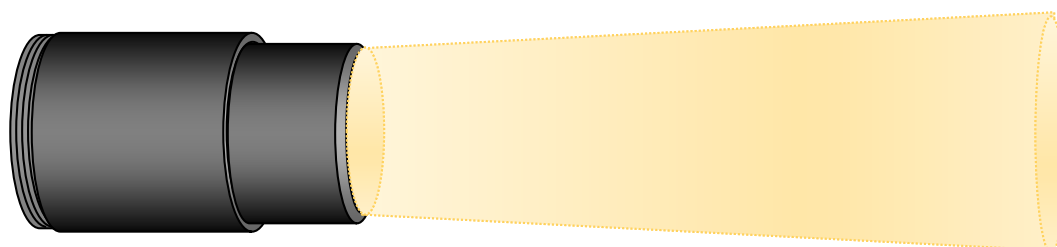
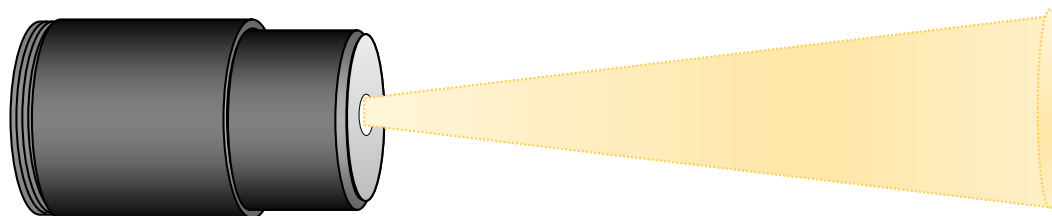
## 概要(装置の組み合わせ)

	ランプ電力	ランプハウス型式	適合電源型式	適合ランプ型式
超高压 水銀ランプ	250W	OPM2-252HGC	BA-H252	USH-250SC2
		OPM2-252HEG		
		OPM2-252HEGW		
	500W	OPM2-502HGC	BA-H502	USH-500SC2
		OPM2-502HEG		
		OPM2-502HEGW		
キセノン ランプ	500W	OPM2-502XGC	BA-X502	UXL-500SX2
		OPM2-502XEG		
		OPM2-502XEGW		

※仕様・型式は改良の為予告なく変更する場合があります。

## 検査用コリメータレンズ

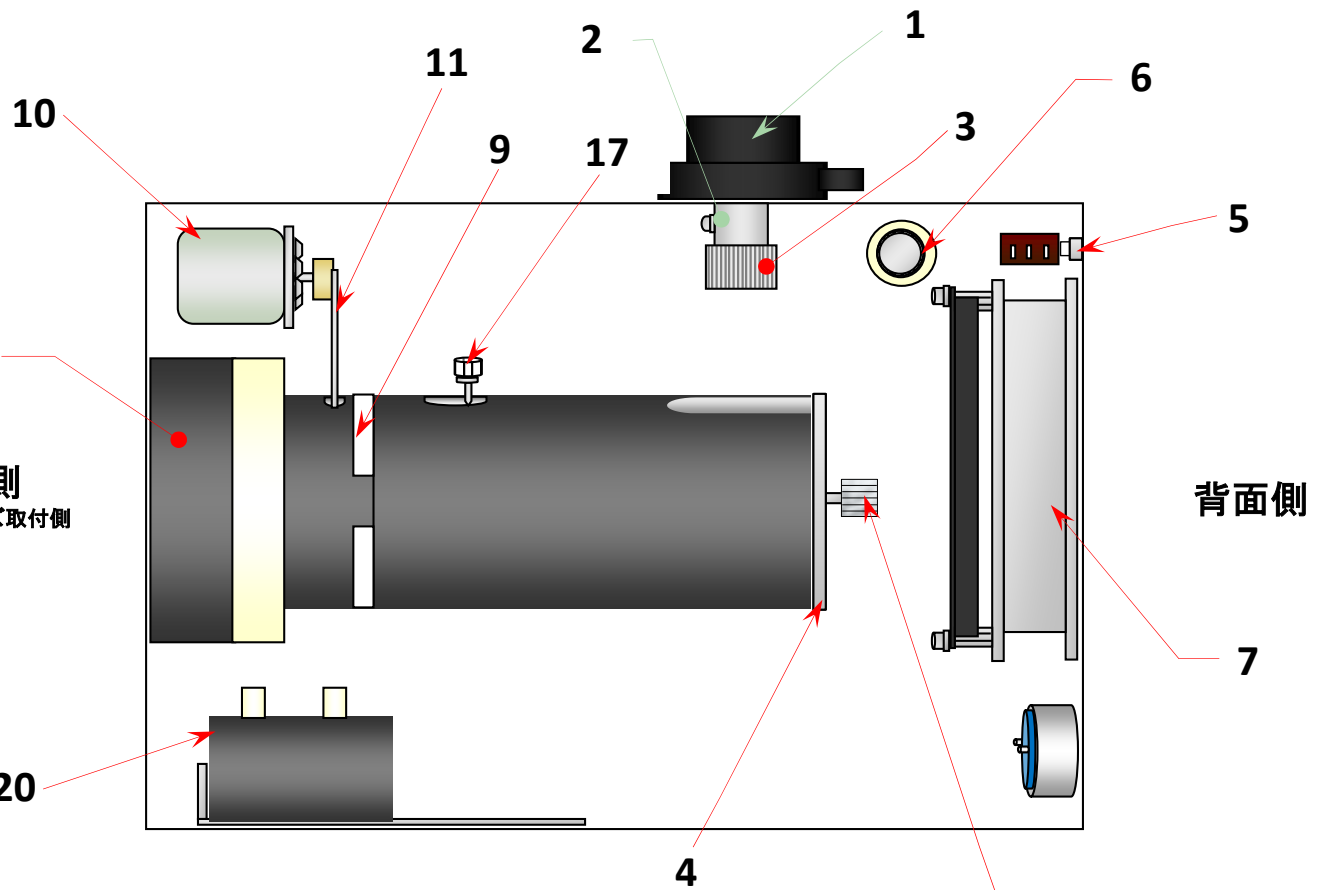
コリメータレンズはすべてのランプハウスに取り付け可能ですが、使用するランプハウスにより、光学性能が異なりますので詳しくは販売元へお問い合わせください。



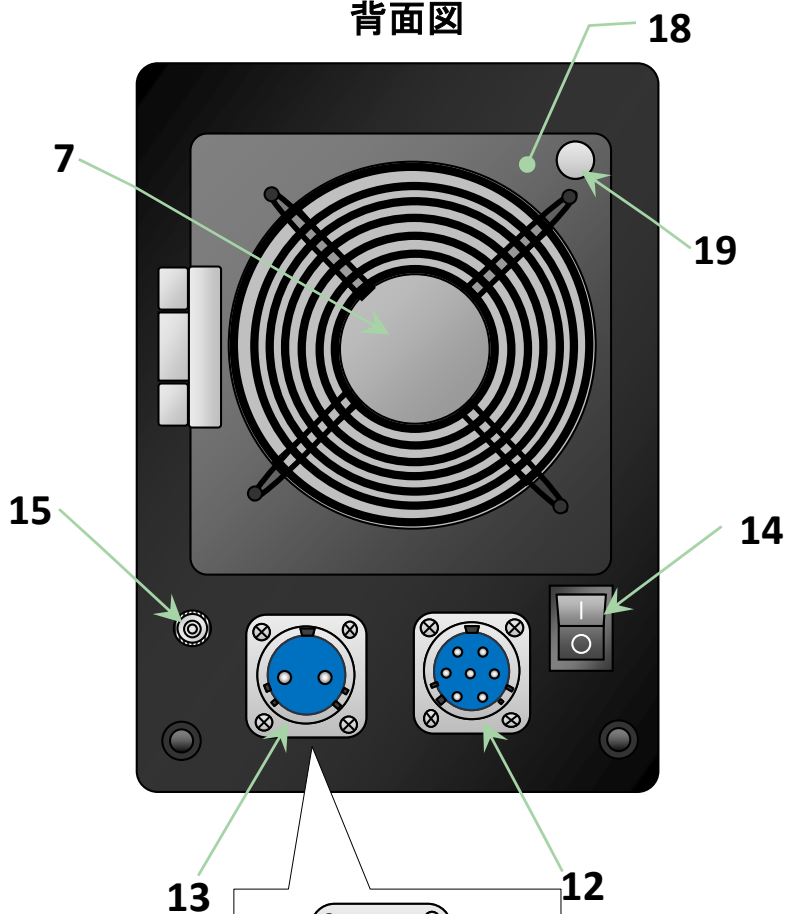
# 各モデルの基本性能

	ランプハウス型式	照射距離	照射径	中心照度
G C	OPM2-252HGC	1500mm	1500φ	850Lx
	OPM2-502HGC	1500mm	1500φ	1700Lx
	OPM2-502XGC	1500mm	1500φ	1050Lx
	OPM2-252HGC (視野絞り付き)	1500mm	620φ	850Lx
	OPM2-502HGC (視野絞りつき)	1500mm	620φ	1700Lx
	OPM2-502XGC (視野絞りつき)	1500mm	620φ	1050Lx
E G	OPM2-252HEG	1000mm	300φ	120Lx
	OPM2-502HEG	1000mm	300φ	270Lx
	OPM2-502XEG	1000mm	300φ	200Lx
E G W	OPM2-252HEGW	1000mm	1000φ	80Lx
	OPM2-502HEGW	1000mm	1000φ	160Lx
	OPM2-502XEGW	1000mm	1000φ	100Lx

# ●各部位の名称 ランプハウス



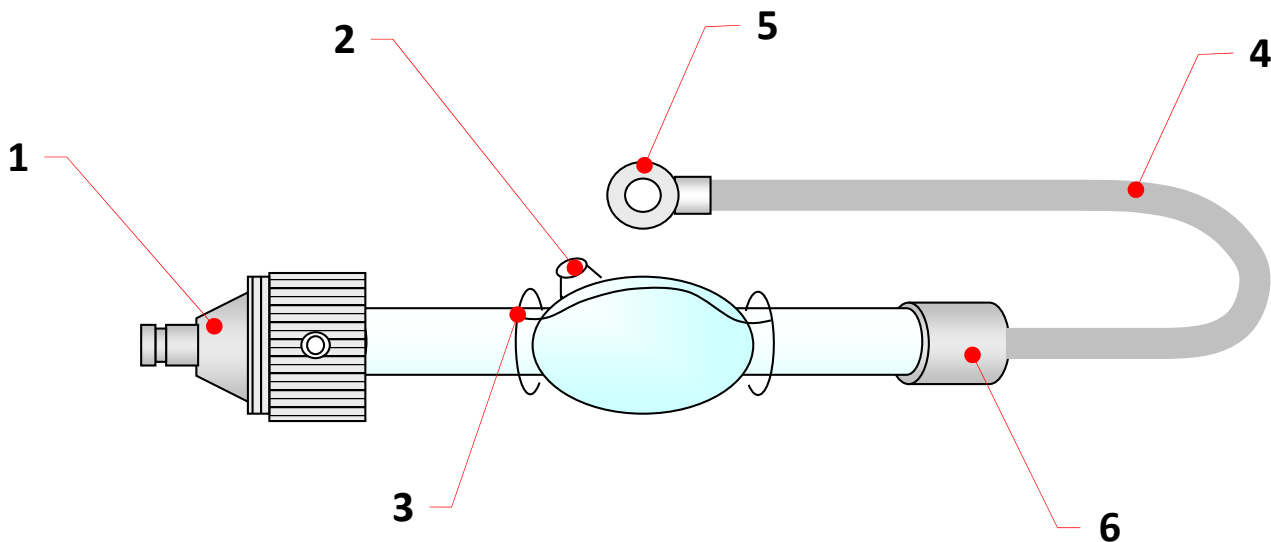
背面図



X300W・X500W・DeepUV500W  
場合は3Pになります。

- 1 調整機構(出荷時調整済・操作不要)
- 2 ソケットホルダ
- 3 ランプキャップ
- 4 遮光板
- 5 INTER LOCK スイッチ
- 6 リード線端子固定ナット
- 7 空冷ファン
- 8 交換レンズマウント
- 9 フィルター挿入部(耐熱フィルタのみ)
- 10 ロータリーソレノイド
- 11 シャッター
- 12 INTER LOCK コネクタ
- 13 LAMPコネクタ  
※モデルにより大きさ、ピン数が違います
- 14 シャッタースイッチ
- 15 アース線端子
- 16 ローレットネジ(遮光板取付用)
- 17 コンデンサレンズツマミ
- 18 ランプ交換ドア
- 19 ドア固定ネジ
- 20 スタータ(超高压UVは除く)

## ● 各部の名称 ランプ



- |   |          |   |         |
|---|----------|---|---------|
| 1 | ランプホルダー  | 4 | ランプリード線 |
| 2 | チップ      | 5 | リード線端子  |
| 3 | トリガーワイヤー | 6 | 口金      |

※キセノンランプ・DeepUVランプのみ

## ● ランプの取扱について

- 1 ランプはガラス製品ですので振動・衝撃を与えないでください
- 2 移動および輸送時は必ずランプハウスから取り外して、専用ケースに入れてください。
- 3 ランプリード線は無理に曲げないでください。また、周囲の金属部に接触しないように取りつけてください。
- 4 定格寿命を経過したランプは破裂の可能性がありますので必ず新しいランプに交換してください。
- 5 ランプが破損した場合は、ランプの取扱注意書に従って対処してください。

※詳しくはランプの取扱注意書をお読みください。

# ● ランプの取付方法

ご使用前に必ず次の順序でランプの取付を行ってください。  
ランプケースは、保管の際などに必要になりますので捨てないでください。

## 取付前のご注意



禁止

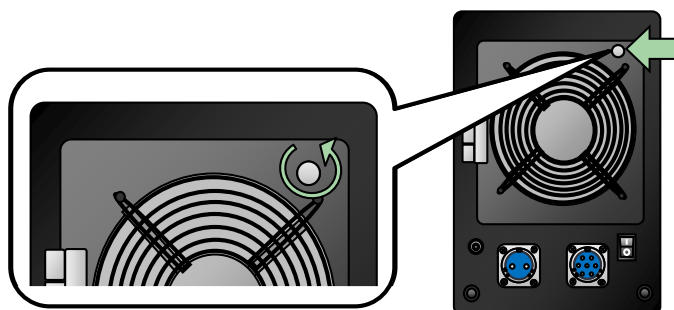
- 1 ランプの取扱の際は必ず手袋等を着用し、ガラス部分には触らないようにしてください。取扱の際はランプホルダもしくは、口金部を持って行ってください。  
※ガラス部分に素手で触ってしまった場合はアルコールを浸した柔らかい布等できれいに拭き取ってください。
- 2 ランプ取付・交換を行う際は必ず電源スイッチをOFFにし、電源コードのプラグをコンセントから抜いた状態で行うようにしてください。
- 3 ランプ交換は消灯後30分以上経過した後ランプが完全に冷えた状態で行ってください。

## ランプの取付方法

### ①灯体後部のドアを開ける。

本体の背面部のランプ交換ドア部分はドア固定ネジにて止まっています。  
ドア固定ネジを反時計回りに回し、ネジを緩めてください。

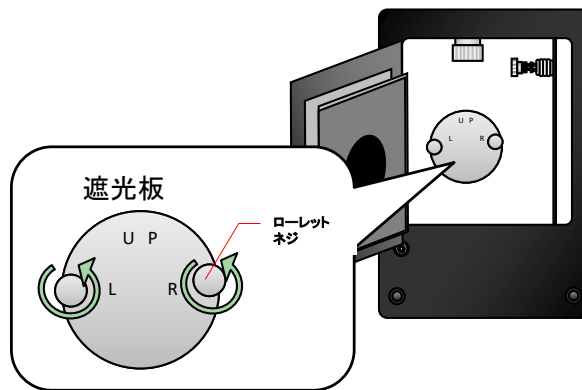
※ドア固定ネジはランプ交換ドアからは外さないでください。



### ②遮光板を外す。

ランプ交換ドアを開くとすぐ遮光板が見えます。  
遮光板に付いているローレットネジ2箇所を反時計回りに回しネジを緩め遮光板を取り外します。

※ローレットネジは外した後、無くさないようにしてください。

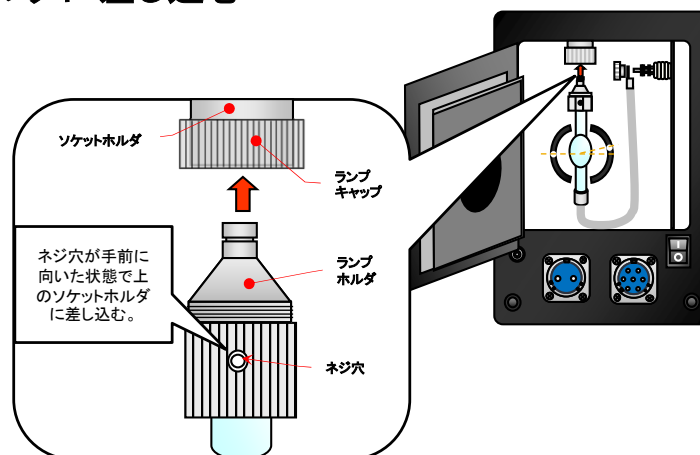


### ③右図のようにランプの先端をソケットホルダに差し込む

ランプは差し込む向きが決まっています。  
右図のように、ネジ穴を手前に向けた状態でランプホルダ部を持ちソケットホルダに真直ぐに押し込んでください。

(差し込みが上手くいかない場合は左右に少し回転させながら差し込んでみてください。)

正しく取りついていればランプホルダから手を離してもランプは落下せず保持された状態になります。

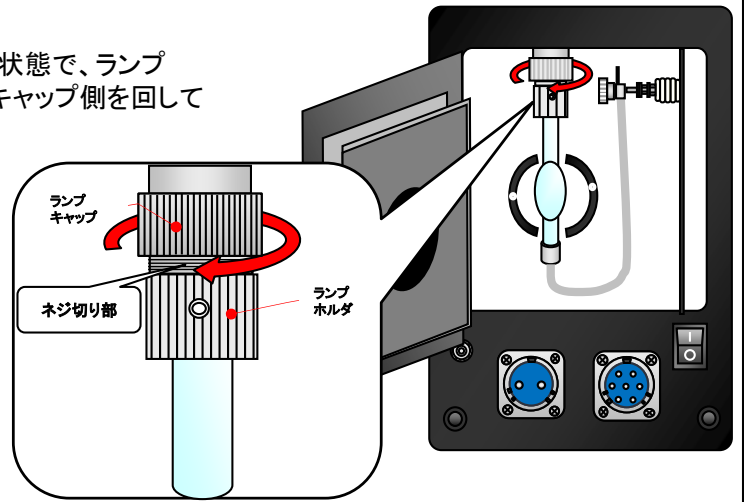


#### ④ランプキャップを回して固定します。

ランプホルダもしくはランプ下側の口金を手で保持した状態で、ランプキャップをランプホルダ側に軽く押し当てながらランプキャップ側を回して締め込んでください。  
ランプキャップとランプホルダの間に隙間が無ければ取付完了です。

### 注 意

- この部分は高電圧のかかる部分です。確実に固定された事を確認してください。  
正しく取付が行われない場合導通不良など大きな故障の原因となります。

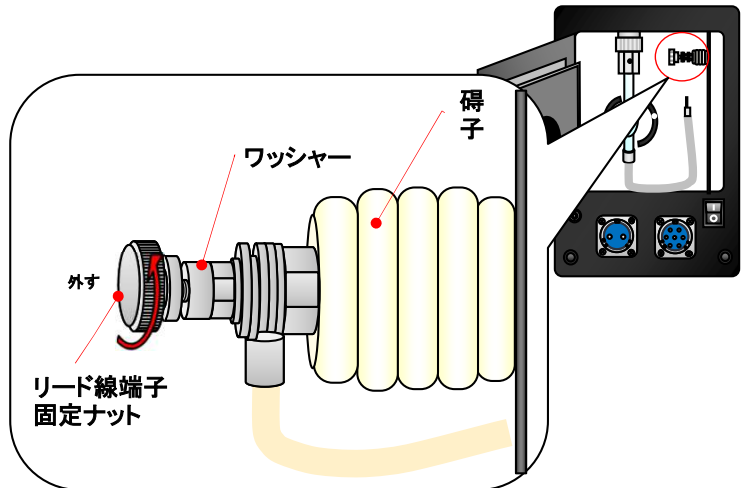


#### ⑤リード線端子固定ナットを外す。

碍子の先端にある固定ナットを反時計周りに回転させ、外します。

### 注 意

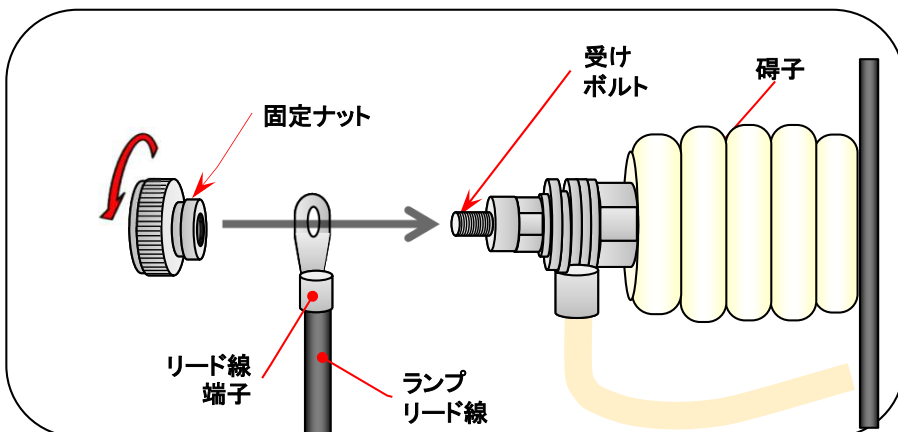
- 細かい部品ですので、取り外す際に落下や紛失に注意してください。



#### ⑥ランプ端子を碍子部分に固定する

碍子部の受けボルトにランプリード線端子を通します。

最後に固定ナットを時計回りに回転させ、ネジが回らなくなるまで確実に締めこんでください。



### 注 意



- ランプリード線が周辺の金属に接触していませんか？  
リークの原因になりますので、接触ないようにリード線を整えましょう。
- ランプ端子はしっかりと密着して留まっていますか？  
間に隙間があると接触不良につながる恐れがあります。

## ⑦遮光板を取り付ける。

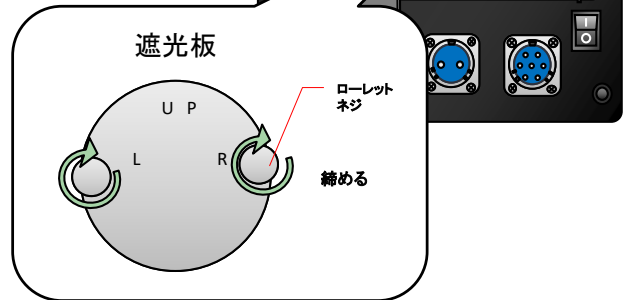
②で外した遮光板を取りつけます。

方向を示す‘UP’ ‘L’ ‘R’の刻印がしてあります。‘UP’の刻印が上にくるようにしてローレットネジを締めてください。

### 注 意

- 遮光板を取付ずに点灯すると、ランプ交換ドアについている排気ファンが損傷します。

遮光板の取付は必ず確認してください。

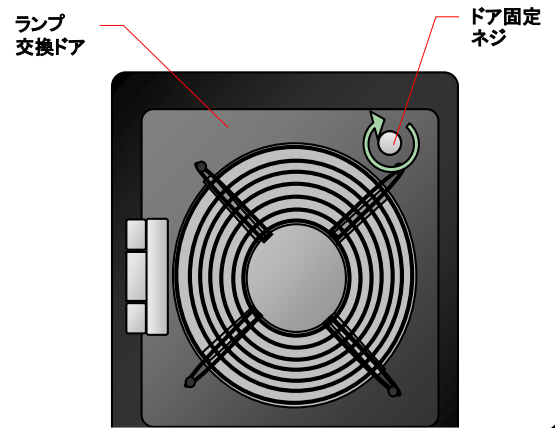


## ⑧ランプ交換ドアを閉める。

ランプ交換ドアを閉め、ドア固定ネジを時計回りに回して固定してください。

### 注 意

- ランプ交換ドアが完全に閉まっていない状態ではインターロックが作動し、ランプの点灯ができません。

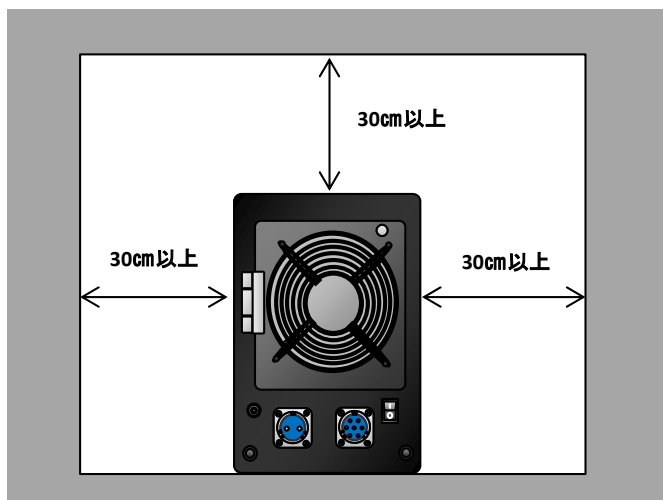


## 設置場所について



ランプハウス、電源ともに周囲30cm以内に物を置かないようにしてください。

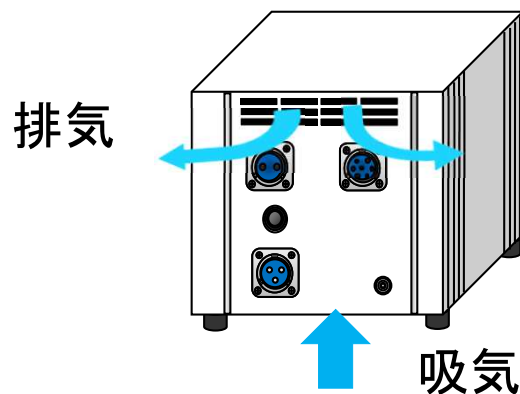
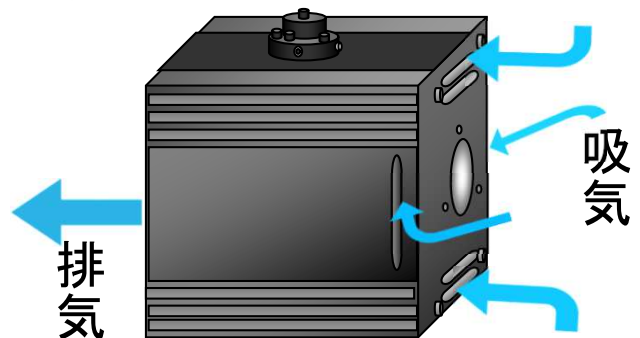
密閉された場所でのご使用はおやめください。



## 吸排気口



ランプハウス、電源ともにファンの吸排気口があります。吸排気口を塞ぐような事はしないでください。



## ● 接続

付属の接続コードを使い、以下の手順にて電源とランプハウスを接続してください。

1. ランプ出力用DCコードで電源とランプハウスを接続します。
2. インターロック・ファンコードで、電源とランプハウスを接続します。
3. 電源コードで、電源とAC100Vコンセントを接続します。

コネクタを電源にしっかりと差し込み、反対側の電源プラグをコンセントに差し込んでください。



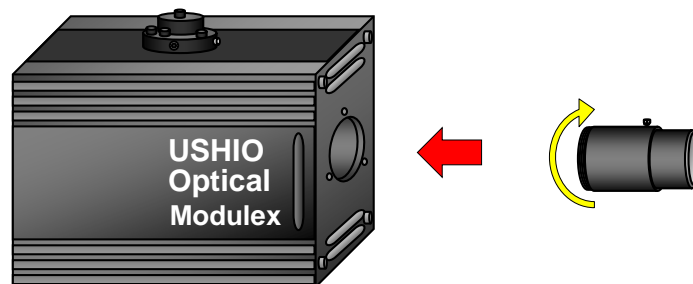
## 接続の完了

### ⚠ 注 意

- ① 全ての結線完了まで電源スイッチは必ずOFFにしてください。
- ② 内部には充電部があります。触ると感電の恐れがあります。
- ③ ランプをセットしないで、電源を入れることはおやめください。高電圧がかかって危険です。
- ④ 電源とランプハウスはセットで購入されたものを接続してください。異なる型式のランプハウス、電源の接続はおやめください。ランプ、電源、ランプハウスの故障・破損の原因になります。

## ● レンズ(コリメータレンズ)の取付

鏡筒を水平に保ち、鏡筒ネジ部をランプハウス取付ネジ部に軽く押し当てながら回して取りつけてください。



### ⚠ 注 意

- ・移動は内部が完全に冷えるまで15分以上お待ちください。また、ランプハウスに通電されていない状態で行ってください。(火傷、感電の危険があります。)
- ・鏡筒の先に付いているレンズには直接触れないようにしてください。(くもりの原因になります)
- ・汚れた場合は、アルコールを浸した柔らかい布などで優しく拭き取ってください。

# ● UVカットフィルタのセット

本装置から出る光は目に見えない紫外線、熱線を含んでいます。  
安全にお使い頂くため、付属のUVカットフィルターをランプハウス内部のフィルタホルダに  
セットしてお使いください。

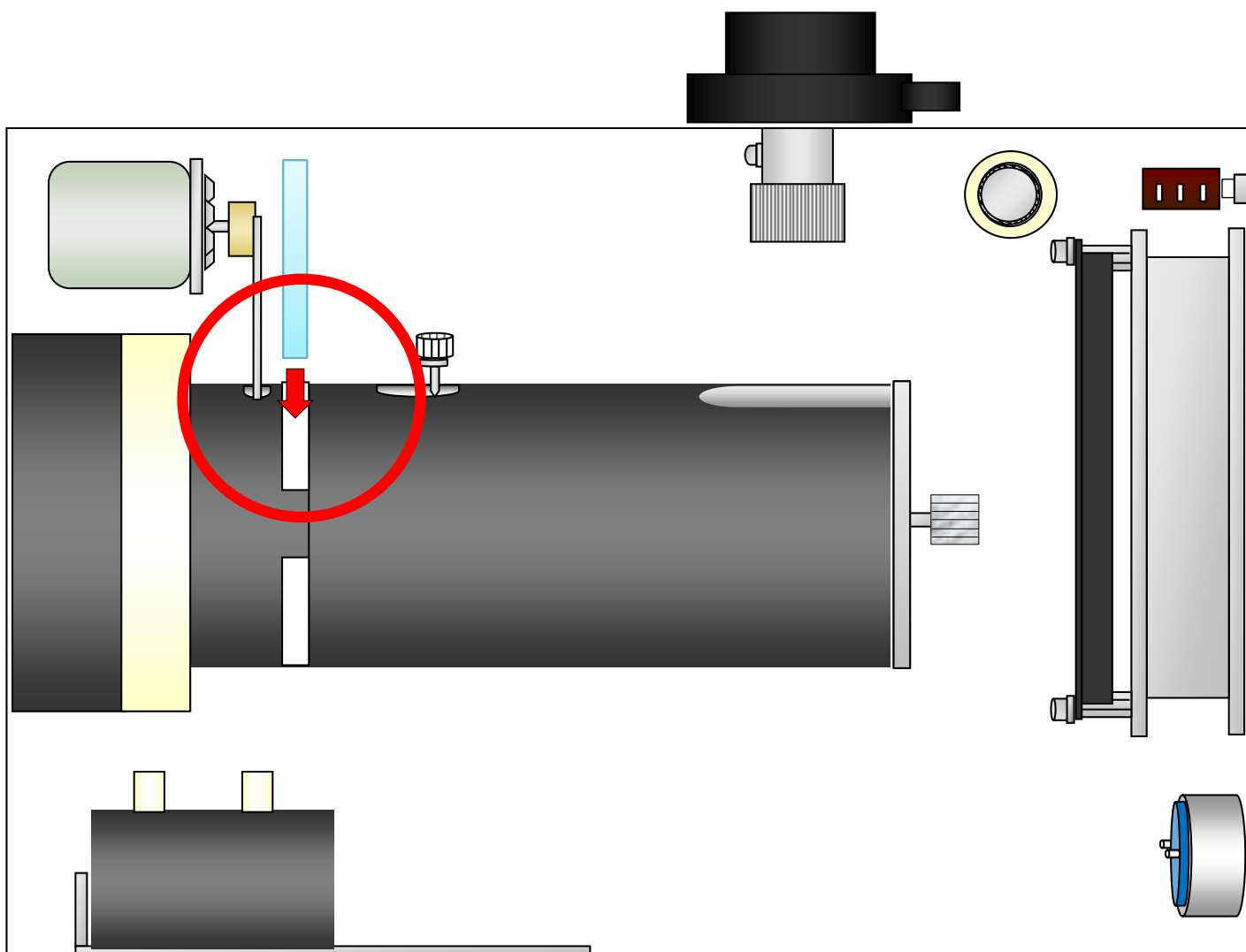


**注**

**意**

※取付けはランプの取付前にランプハウスに通電されていない状態で、なおかつ、  
内部が十分に冷えた状態で行ってください。火傷、感電の危険があります。

その他フィルタをご使用の場合、オプションの外付けフィルターホルダーをお使い  
下さい。



## ● 点灯前の確認

---

ランプ点灯を行う前に必ず下記事項をご確認ください。

- ① ランプ及びリード線端子の取付
- ② 遮光板の取付
- ③ コリメータレンズの取付
- ④ ランプハウス、電源のコードの接続
- ⑤ 電源コードのプラグの差し込み
- ⑥ シャッターのcloseの確認  
(シャッタースイッチ下側○印が押されている状態)



### 警告

- ランプの取付を必ず確認してください。  
ランプが取りついていない状態で点灯動作を行うと、高電圧による感電などの危険があります。
- コリメータレンズを取りつけない状態で点灯すると光が拡散された状態で照射されま  
す。思わぬトラブルの原因ともなりますので十分にご注意ください。

# ● 点灯・消灯

## 1 電源を入れる

電源のPOWERスイッチをONにするとパイロットランプ(緑色)が点灯し、AC100Vが通電されたことを示します。同時に、ランプハウスおよび電源では内部の空冷ファンが廻り、AC100Vが通電されたことを示します。

## 2 LAMP ON スwitchを押す

LAMP ON用の押しボタンスwitchを1~2秒押し、手を離してください。ランプが点灯します。

※超高压UVランプは安定するまでに点灯後5分ほどかかります。すぐに光が出なくても、しばらくお待ちください。点灯している場合は電源のLAMP CURRENTメーターで確認できます。

## 3 ランプハウスのSHUTTERスイッチをONにします

シャッタースイッチの上部を押すとシャッターが開きランプハウス前面から光が出ます。下側(O印)を押すとシャッターが閉じ光が遮断します。

## 4 ランプを消灯する

LAMP OFF の押しボタンスwitchを2~3秒押ししてください。(長押し)  
1秒以内で手を離すと再点灯する場合があります

## 5 消灯後再点灯させる場合

LAMP ONスイッチを再度ONにすると再点灯します。

※**超高压UVランプ**は消灯後再点灯する場合、ランプが冷えるまで30分程お待ちください。すぐには再点灯しません。この間に何度もLAMP ONスイッチを押すとランプやスタータの故障の原因になります。



## 警告

- ① 光は目に見えない紫外線、熱線を含んでいます。点灯中は衣服などの燃えやすいものを直接光に触れないようにしてください。火傷、焼損、劣化のおそれがあります。  
また強い紫外線による被照射物の劣化にご注意ください。
- ② ランプの光は絶対に直接または間接的に肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因になります。ランプの光は直接または間接的に皮膚に当てないでください。皮膚に炎症が起こる原因となります。



## 注意

- ① ランプを点灯させる時、高圧高周波が発生します。点灯させる時にはランプハウスに触らないようにしてください。
- ② ランプが点灯しない場合、故障かなと思ったらトラブルシューティングをご参照ください。
- ③ スターターノイズ、放電ノイズが発生します。他の計器への影響をご注意ください。  
他の計器が近くにある場合、ランプ点灯後にそれらの計器のスイッチを入れることをおすすめします。
- ④ 点灯中にランプ交換ドアを開くと、インターロック回路が作動してランプが消灯します。

# ● その他 諸注意

## 1 フィルターについて

フィルタをご使用の場合、オプションの外付けフィルターホルダーをお使い下さい。

ランプハウスには、内部にフィルターを1枚挿着可能ですが、高温になる箇所ですので、御使用の際は、耐熱性のガラスのものをお使い下さい。

装着可能なフィルタサイズは50×50 厚さは5mm以下です。



### 注 意

内部フィルターホルダを使用する場合、取付けはランプの取付前にランプハウスに通電されていない状態で、なお且つ、内部が十分に冷えた状態で行って下さい。

火傷、感電の危険があります。

## 2 使用中の注意

- ① 使用中は必ず、ランプハウス・電源内のファンが回っていることを確認してください。
- ② ランプは消灯後も高温になっています。ランプハウスの周囲の金属を含めてすぐに手を触れると火傷の恐れがあります。冷却するまでランプハウスの冷却ファンが廻っている状態で30分お待ちください。
- ③ このランプハウスは、水平状態で使用するよう設計されています。やむをえなく傾ける場合、必ずプラス・マイナス10度以内の傾きの範囲でご使用ください。  
これ以上の傾きになると故障や事故の原因となります。
- ④ ランプハウス後部のシャッタースイッチでシャッターの開閉ができるようになっています。  
※ シャッタータイムコントローラーでのリモート操作を希望される場合、お買い上げの窓口にご相談ください。
- ⑤ ランプ点灯中にランプ交換ドアを開けると、INTER LOCKが作動します。このときランプハウス内のファンは動作したままで電源のALARMランプ(赤)が点灯します。再度点灯する場合はランプ交換ドアをしっかりと閉め、電源のPOWERスイッチを再投入し、通電表示ランプ(緑)の点灯を確認してからLAMP ON スwitchを押してください。

※超高压UVランプの場合は、消灯後、再度点灯する場合、すぐには点灯できません。15分程置いてから再度点灯するようにしてください。

- ⑥ 本装置の周辺温度は0℃～40℃と定められております。これ以上の温度の高い場所での設置は装置の故障の原因に繋がります。(通常空調された室内でない場合は装置の約10cmで温度測定して基準以下であることを確認してお使いください。)  
※空調された室内でも空気の流通の悪い、机の下引き出しの中、遮蔽物の中などに設置する場合必ず周囲温度の確認と、空気の流通の確認をおこなってください。

## その他 諸注意

- ⑦ 点灯中はレンズ先端およびレンズマウントの光軸に手や衣類、紙などを近づけると危険です。消灯した後も、高温になっている場合があるので触らないようにしてください。
- ⑧ 通常の入力コンセントは容量が定められています。テーブルタップなどで入力を取る場合他に使っている容量を十分に加味して規定以内で接続してください。
- ⑨ 電源にはファンインターロックがついています。  
万一、ランプハウスの冷却ファンが何らかの理由で止まった場合、ランプが消灯し、電源のALARM(赤)ランプが点灯します。
- ⑩ 電源のALARM(赤)ランプが点灯した場合、その原因を除いてPOWERスイッチを切り、一度リセットすることで再点灯が可能な状態に復帰します。
- ⑪ ランプハウスの調整機構はいじらないでください。不用意に操作すると所定の光学性能が出なくなります。

## 別売オプション

本機には以下の別売オプションがあります。本機と合わせてご利用ください。  
詳細なオプション内容は購入先にお問い合わせください。  
又、シャッタータイムコントローラーはメーカーオプションです。購入先にお問い合わせください。



フィルタ各種



ファイバマウント



ファイバー各種

- ・多成分
- ・石英
- ・液体
- ・バンドル径5、Φ8
- ・長さ 500mm、1000mm
- ・多分岐



下方照射ミラー各種

- ・全反射
- ・コールド
- ・UV



フィルターホルダ

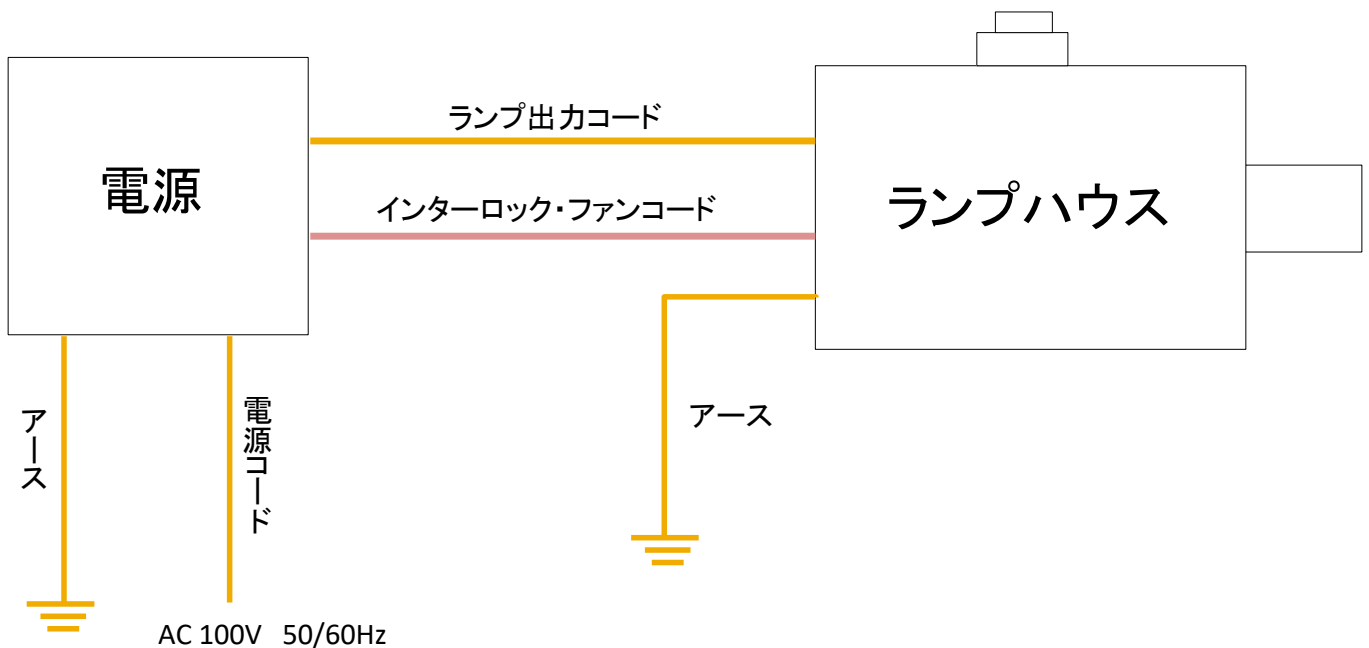
標準2枚装着可能  
※3枚以上対応可(別途特注)

# ● 電源仕様

		H250	H500	X150	X300	X500	DeepUV500
入力	電圧	AC100V/120V±10%					AC100V±10%
	電流	5A以下	10A以下	3A以下	10A以下	10A以下	10A以下
	突入	70A MAX					
出力	制御方式	定電力制御		定電流制御			
	定格電圧	40V	57V	20V			25V
	定格電流	6.25A	9A	7.5A	15A	25A	20A
インターロック 保護回路※1	ドアOPENインターロック	○	○	○	○	○	○
	過電圧保護	×	○	○	○	○	○
	電源過熱保護	○	○	○	○	○	○
	ランプハウスFAN停止保護	○	○	○	○	○	○

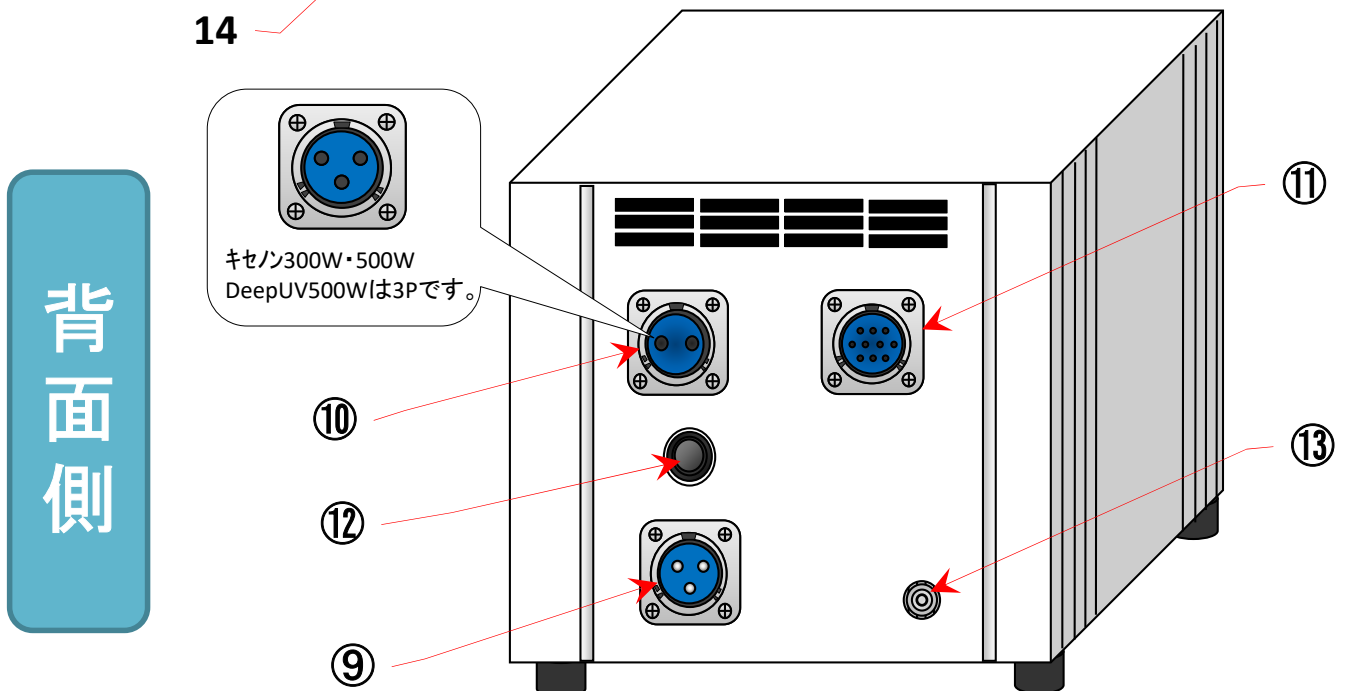
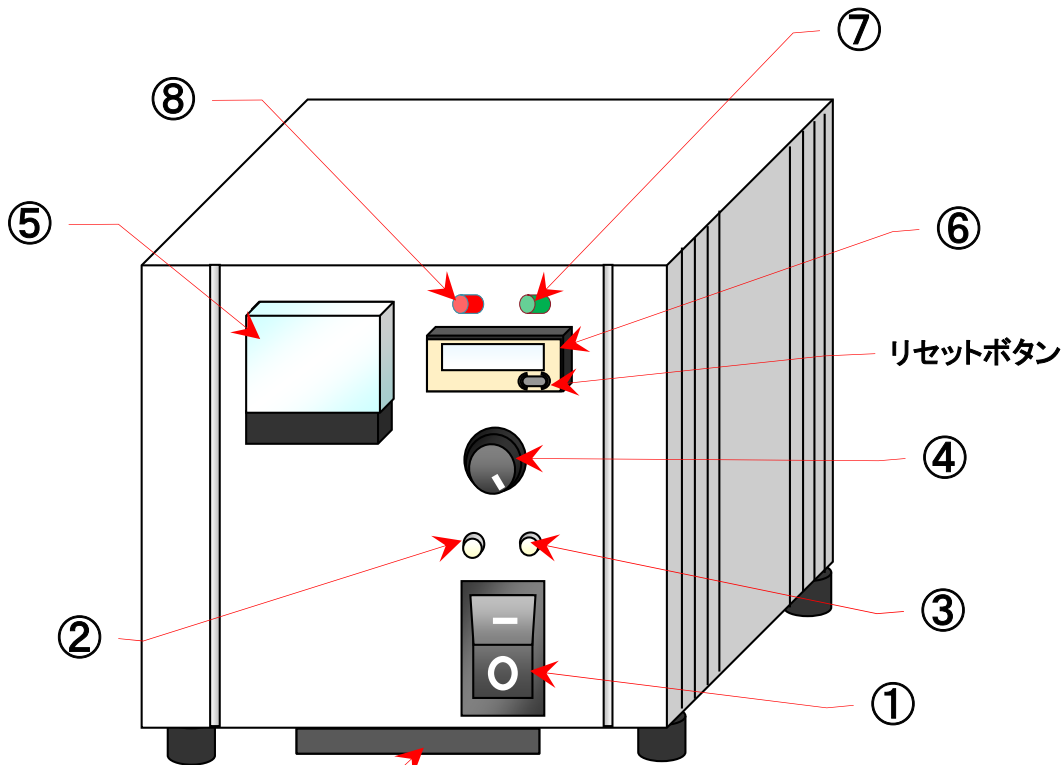
※インタロック・保護回路作動時・ランプ出力遮断ランプ消灯

# ● 電源結線図



# ● 電源の各部名称

- |                    |                                    |
|--------------------|------------------------------------|
| ① POWER スイッチ       | ⑨ IN PUT AC 100V コネクタ              |
| ② LAMP ON スイッチ     | ⑩ LAMP コネクタ                        |
| ③ LAMP OFF スイッチ    | ⑪ INTER LOCK OUT PUT<br>DC24V コネクタ |
| ④ LAMP CURRENT ADJ | ⑫ ヒューズホルダー                         |
| ⑤ LAMP CURRENTメーター | ⑬ アース線端子                           |
| ⑥ LAMP USED HOUR   | ⑭ 空冷FAN                            |
| ⑦ 通電表示ランプ(緑)       |                                    |
| ⑧ ALARM ランプ(赤)     |                                    |



# ● 電源パネル説明

## 本体前面パネル

- ① 電源スイッチです。  
電源装置のON、OFFに使用します。
- ② ランプ点灯用スイッチです。  
ランプを点灯させる時に使用します。
- ③ ランプ消灯用のスイッチです。  
ランプを消灯させる時に使用します。
- ④ ランプ電流調整用のボリュームです。  
ランプの電流調整する時に使用します。  
ツマミをMAXIにした時に定格電流になります。
- ⑤ 電流計です。  
点灯中のランプの電流を表示しています。
- ⑥ 時間計です。  
ランプの点灯時間を表します。ランプを変えた際にはリセットボタンを押し、リセットするようにしてください。
- ⑦ 通電表示ランプです。  
電源スイッチON時に点灯し、通電状態を表示します。
- ⑧ アラームランプです。  
ランプハウスまたは電源異常時に点灯します。

## 本体背面パネル

- ⑨ 受電コネクタです。  
入力電圧90～110V 1Φを入力します。
- ⑩ ランプ出力コネクタです。
- ⑪ インターロックコネクタです。  
インターロックとランプハウスの空冷FANへの出力です。
- ⑫ ヒューズホルダーです。(15A)  
主回路のヒューズです。
- ⑬ アース接続用端子です。
- ⑭ 空冷ファンです。



## 諸注意 【電源】

---

- ① 電源のフロント部分にある、アワーメーターはランプの使用時間を示します。  
ランプの平均寿命以内で新品と交換してください。  
交換後は、LAMP USED HOUR横のリセットボタンを押してアワーメータの表示を“0”に戻しランプ使用時間を管理してお使いください。
- ② ランプの寿命を超えて使用するとランプの破損及び電源やスタータの故障の原因になります。
- ③ 吸気口を塞がないでください。

# ● トラブルシューティング

---

## 「点灯しない」

---

### ● コード類はしっかり結線されていますか？

付属のコード類すべてが正しく結線されているか、AC用プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。

### ● ランプは取りついていますか？

ランプが、灯体に正しくセットされているか確認してください。

### ● ランプ交換ドアはしっかり閉まっていますか？

ランプハウスの後部ドアが開いていると、インターロックが作動するので、ランプが点灯しません。後部ドアが開いている場合は閉めてください。

### ● ヒューズはきれいでいませんか？

電源背面のパネルにあるヒューズホルダーを開けてみてください。ヒューズが黒くなっていたり、中で断線していたりしませんか？切れていた場合は新しいヒューズをセットしてください。

電源のヒューズは15Aとなっております。

### ● 電源・ランプハウスは作動していますか？

電源は、通電表示ランプ(緑)が点灯していますか？

### ● 通電表示ランプ(緑)が点灯しているのにLAMP ON をしても点灯しない場合

ランプの寿命が考えられます。新品もしくは他のランプに交換してみてください。それでも点灯しない場合は販売元にお問い合わせください。

# ● トラブルシューティング

---

## 「点灯するが短時間で消灯する」

---

- ファンに何かがからんでいませんか？周囲に物を置きすぎたり、風の通りの悪い場所に置いていませんか？

電源内部の温度が上がりすぎていることが考えられます。周囲の風通しを良くしてください。ファンに物がからんだりしていないかよく確認してください。

- ランプが古くなっていませんか？

ランプは消耗品です。所定の時間内でお使いください。点灯するからと言って長時間使用するのは危険です。古くなって点灯しづらくなった場合、新しいランプに交換してください。

以上の内容をためしてもまだ短時間で消灯する場合は、お手数ですが、お買い上の担当者にご連絡ください。

## 「消耗品」

---

- ランプ

ランプは消耗品です。所定の時間内でお使いください。

- シャッター羽根

シャッター羽根は消耗品です。

高温で変形する場合がありますが異常ではありません。

万一周囲に当たって開閉に影響が出る場合は手で元に戻してください。

※尚シャッターは非常に薄いため、手を切らないように十分注意してください。

- ミラー及びフィルタ、レンズ、ファイバーなどの光学部品

これらの光学部品の劣化は使用時間や使用環境により異なります。

新しいランプに交換しても初期の光学性能が出ない場合は交換が必要です。





# ● 移動・輸送時の注意事項

---

## ● 持ち運び等の移動の注意

---

- 1 点灯中の移動・運搬は危険ですのでおやめ下さい。
- 2 接続ケーブル類は必ず取りはずしてください。
- 3 ランプは本体より外し、専用ケースに収納してください。
- 4 ランプハウス内部のフィルター挿入部にフィルターを挿入している場合は、フィルターを取りだしてから行ってください。振動等でフィルターにキズや割れが生じる場合があります。
- 5 ランプハウスの調整機構部分には衝撃を加えたりしないでください。調整してある光軸が狂ってしまいます。

## ● 輸送時の注意

---

- 1 ランプはランプハウスから取り外してください。ランプハウスに取り付けたまま輸送しますと破損します。また必ず専用ケースに収納してください。
- 2 接続ケーブル、コリメータレンズ、ランプ、フィルター等の取り外しが可能な付属品は全て取り外してください。
- 3 ランプハウスの調整機構部分の突起部には衝撃が加わらないように注意して梱包してください。
- 4 本製品は精密機械ですので、輸送の際は必ず緩衝剤等を入れ、本体に衝撃が加わらないように梱包してください。

※お客様による輸送時の破損・損傷につきましてはお客様の責任になりますのでご了承ください。

# ● アフターサービスについて

## ■ 修理に出されるときは

### 【無償修理に関して】

購入より1年間は保証期間とし、無料修理規定に基づいて修理いたします。

### 【修理品の対応期間に関して】

製品出荷後7年間とさせていただきます。サプライヤーの部品供給や修理対応状況、その他社会情勢やむを得ない事情により、リーズナブルエフォート(※)となる場合があります。

※リーズナブルエフォート: お客様のご要望にできる限りお応えすることを前提に、状況次第ではお断りをする可能性がございます。

修理の依頼いただく前にお買い上げの担当社にご相談ください。

ご相談いただく前に、あらかじめ本装置に貼ってある銘板シール(銀色のシール)にある7桁の製造番号をお知らせください。

お買い上げの販売店がわからない場合は以下にご相談ください。

販売製造元

株式会社アドテックエンジニアリング

03-6369-9805

## 《無料修理規定》

- 正常な使用状態にてご使用いただいたにも関わらず故障が発生した場合保証期間内であれば無償修理対応いたします。

保証期間は納入日より1年間とさせていただきます。

- 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。

(イ)保証書をご提示いただけない場合

(ロ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による事故・損傷。お客様の故意または過失、誤用、その他異常な周囲環境により生じた損害。

(ハ)お買い上げ後の落下による事故・損傷。

(ニ)火災・公害・異常電圧・定格外の使用電源(電圧・周波数)および地震・雷・風水害その他天災地異など、外部に原因のある事故・損傷。

(ホ)当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作から生じた損害。

(ヘ)本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害。